

事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：みはしネット____子ども__部会

令和2年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名 みはしネットがしかける 地域・学校・家庭の連携強化事業
2021年度 新入学保護者・児童交流会

事業費(予算額)：135,000円(まちづくり総合交付金課題解決特別事業 135,000円)

- P** **事業の目的(解決を目指す課題)**
三階小学校の新入生は複数の保育園・幼稚園からの入学してくるため、親子共に顔見知り少なく、つながりが希薄である。そのため入学前から親同士気楽にコミュニケーションが取りにくく、不安感がある。
- ① 保護者同士が気楽にコミュニケーションが取れる関係を作ること、孤立を防ぎ、安心して子育てできる環境を提供 ② 新入学児童が学校生活を楽しみにできたり、地域とのつながりづくりのきっかけとする。
- 見込まれる成果**
① 保護者の大半が参加し、連絡先を交換したり、入学への不安についてアドバイスをもらい、不安が軽減される。
② 新入学児童が小学生や地域住民と楽しく交流し、入学を楽しみにできたり、地域住民とのつながりができる。

- D** **事業の概要** ① 三階小学校ミーティングルームで新入学の保護者同士の交流会を開催する。
【保護者交流会内容】 浜田親子共育応援プログラム(HOOP)体験/みはしネット子ども部会、はまだっ子共育プロジェクト、まちの縁側の取り組み紹介/ 保護者同士の交流タイム(児童の様子を見ながら)
- ② 体育館で新入学児童の交流会を開催する。
【児童交流会内容】 運動遊びプログラム(リーベ)の体験/ 新6年生や地域ボランティアと交流
- 事前の動き**
令和2年11月 交流会案内チラシの作成/学校説明会での交流会PRの方法を学校長に了解を得る。
運動遊びプログラム講師へ依頼
就学時健診で保護者へ交流会のPR(予告チラシ配布)
令和3年1月 交流会の新6年生ボランティア募集/HOOPファシリテーターと打ち合わせ
2月 物品購入日で保護者に交流会チラシ出欠ハガキ配布/保育園、幼稚園に企画PR、声かけ依頼
- 当日**
令和3年2月28日(日) 13:00~15:00 会場：三階小学校ミーティングルーム・体育館
参加人数：56名(児童兄弟と保護者43名/新6年生ボラ3名/体操講師・子ども部会・HOOPスタッフ10名)工夫したこと：前回参加人数が入学予定の3分の1程度に留まったため、参加を促すため事前に所属幼保名をアンケートで聞き取り、幼保関係者に参加の声かけ依頼を郵送または直接お願いに回った。

C 課題の解決度合(10段階の自己評価)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

今回は学校、幼保の先生方の参加の声掛けのおかげで入学予定の半数以上の世帯が参加できました。HOOPには夫婦での参加や母親の参加が多い中、父親の参加も数名ありました。HOOP終了後は児童の活動の様子を見ながら、和やかに保護者同士交流していました。若干1名母親から離れられない児童がいたが、保護者同士の交流の機会は今後あまりないので、HOOP体験を優先してもらった。交流会終了後笑顔で帰る親子の姿を見て、楽しんでくれたのではないかと思います。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと(評価を10に近づけるために)

- 参加者を増やすための取り組み
- ・三階小学校の協力(就学時健診の学校紹介で交流会のPRと校長先生の声かけ依頼)
- ・幼稚園・保育園の協力(先生からの参加声かけ依頼)
- ・参加者増加に対応するスタッフの確保



運動遊び



HOOP